

チームラボプラネッツ（東京・豊洲）、大規模拡張から約1ヶ月間のチケット購入数が、前年比約130%に。来館者の滞在時間も増加。

3月1日（土）から、2つの巨大空間に春の【桜】が咲き渡る



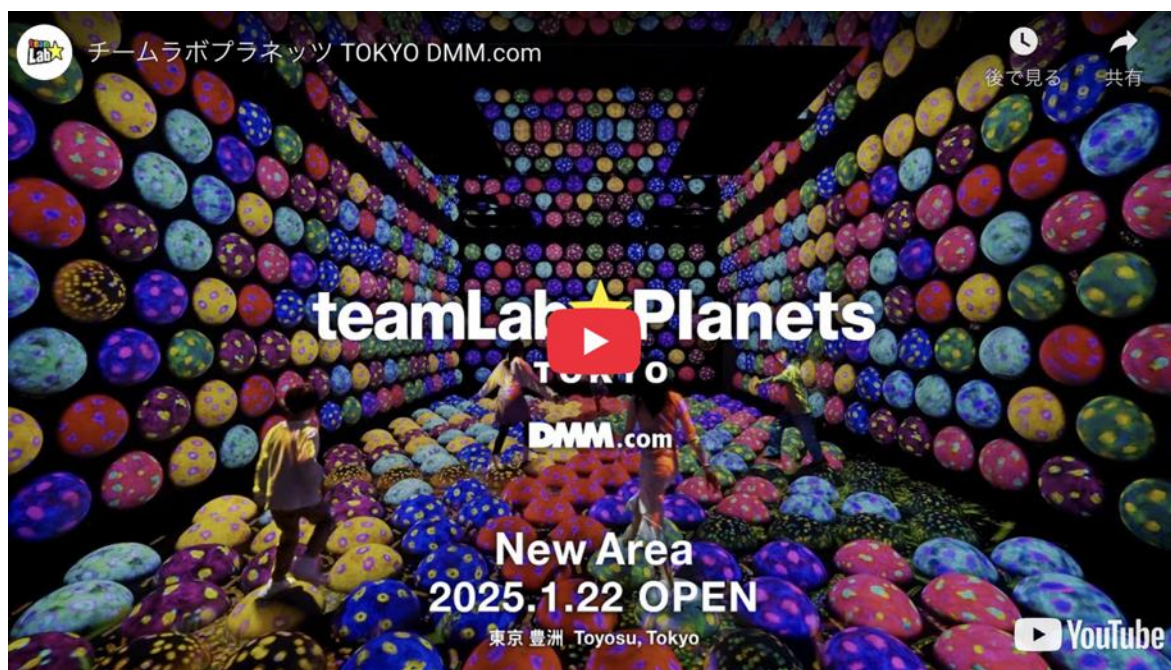
チームラボ [《Floating in the Falling Universe of Flowers》](#) ©チームラボ

東京・豊洲の「[チームラボプラネッツ TOKYO DMM.com](#)」（以下、チームラボプラネッツ）は、2025年1月の大規模拡張から約1ヶ月間のチケット購入数が、前年比約130%となりました（※1）。また、来館者の滞在時間も大幅に増加。来館者を対象に実施したアンケート調査では、「2時間以上館内に滞在した」と回答した割合は約48%増加、「3時間以上滞在した」と回答した割合は約20%増加しました（※2）。

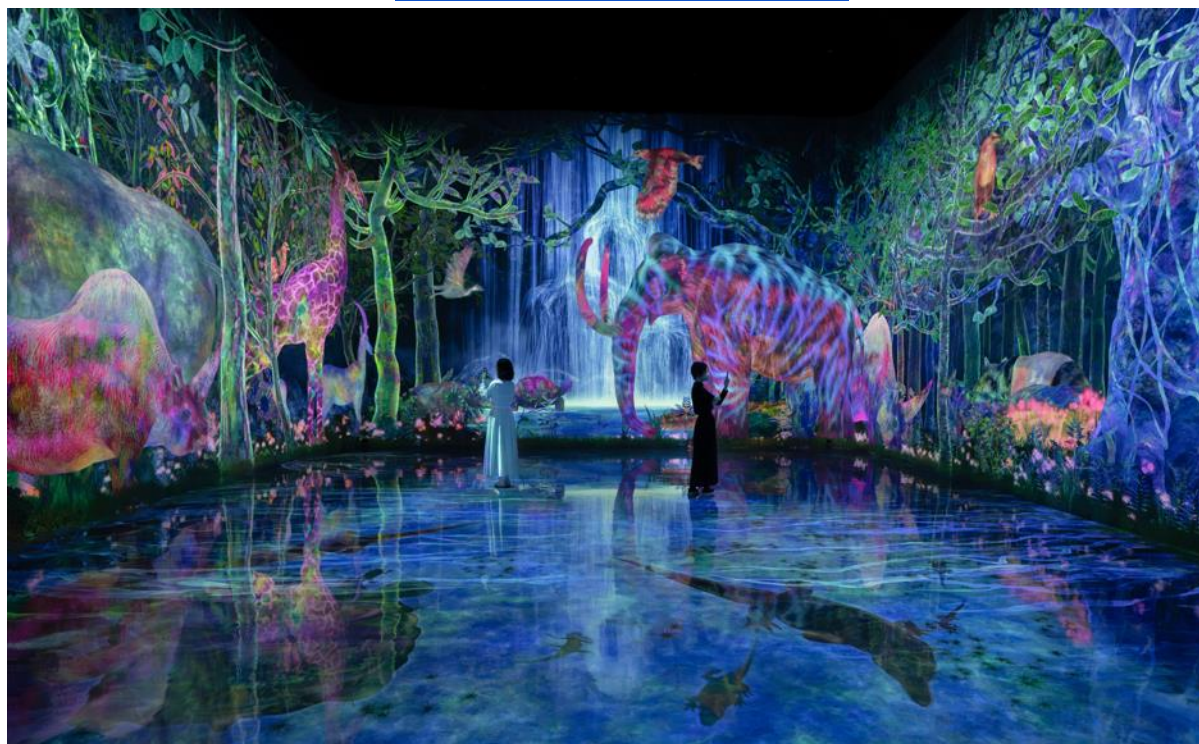
また、チームラボプラネッツでは、この春、2つの作品空間に桜が咲き渡ります。1年間の花々が刻々と変化しながら咲いては散る作品 [《Floating in the Falling Universe of Flowers》](#) には、空間いっぱいに桜が咲き誇り、また、来場者が裸足になって水の中を歩く作品 [《人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング》](#) では、水面に泳ぐ鯉が人々にぶつかると、桜となって散っていきます。桜が見られるのは、3月1日（土）から4月30日（水）まで。

<大規模拡張で新たに20作品以上を公開>

チームラボプラネッツは、今年1月に面積を約1.5倍に拡張し、「[運動の森](#)」や「[つかまえて集める森](#)」、「[学ぶ！未来の遊園地](#)」などの教育的なプロジェクトからなる20作品以上を、新たに公開しました。また、来館者が作品空間で描いた絵が、オリジナルのプロダクトになって持ち帰る「[スケッチファクトリー](#)」も新設。大規模拡張の詳細については、[こちらのプレスリリース](#)をご覧ください。



ハイライト動画「[チームラボプラネッツ TOKYO DMM.com](#)」 © チームラボ



チームラボ 《[つかまえて集める絶滅の森](#)》 © チームラボ



チームラボ 《[スケッチ環世界](#)》 ©チームラボ

(※1) チームラボプラネッツ公式サイト チケット購入者データより、調査期間：2025年1月22日(水)～2月16日(日)及び、2024年1月24日(水)～2月18日(日)の約1ヶ月を比較

(※2) チームラボプラネッツ TOKYO DMM.comで実施したアンケート調査  
調査期間：2025年1月1日～2月18日

調査方法：来館者へのアンケート（オンラインにて実施）

有効回答数：2,525（1月1日～1月21日：669、1月22日～2月18日：1,856）

アンケート結果：「2時間以上館内に滞在した」と回答した来館者の割合は、拡張前の約12%から約60%に増加。

「3時間以上滞在した」と回答した来館者の割合は、拡張前の約1%から約20%に増加。

### <桜が咲き渡る作品>

#### Floating in the Falling Universe of Flowers



チームラボ 《[Floating in the Falling Universe of Flowers](#)》 ©チームラボ

1年間の花々が、時間と共に刻々と変化しながら咲き渡る生命の宇宙が、空間に広がっている。

寝転ぶ、もしくは、座ってしばらくいると、やがて身体は浮遊し、世界と一体化していくだろう。

花は、生まれ、成長し、つぼみをつけ、花を咲かせ、やがて、花を散らせ、枯れて、死んでいく。つまり、花は、誕生と死滅を、永遠に繰り返す続ける。

作品は、コンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。全体として以前の状態が複製されることなく、永遠に変化し続ける。今この瞬間の絵は二度と見るできない。

### 人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング- Infinity



チームラボ 《人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング- Infinity》 ©チームラボ

無限に広がる水面に鯉が泳いでいる。人々は水の中に入り歩く。

鯉は、水の中の人々の存在に影響を受け、また他の鯉の影響を受けながら泳ぐ。そして、鯉は、人々にぶつかると、花となって散っていく。1年を通して、咲いていく花々は季節とともに移り変わっていく。

人々の存在に影響を受けて泳ぐ鯉の軌跡によって、線が描かれていく。

作品はコンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。全体として以前の状態が複製されることなく、鑑賞者のふるまいの影響を受けながら、変容し続ける。今この瞬間の絵は2度と見るできない。

---

### 【チームラボプラネッツ コンセプト】

身体ごと没入し、身体で認識し、アートと一体となる

チームラボプラネッツは、アートコレクティブ・チームラボによる水に入るミュージアム。

作品は、自分や他者の存在によって変化し、作品の存在は、自分の身体や他者と連続的である。そのような巨大な作品群に、他者と共に、身体ごと没入し、身体で認識し、アートと一体となる。



チームラボ 《[Floating Flower Garden: 花と我と同根、庭と我と一体](#)》 ©チームラボ

---

チームラボプラネッツ TOKYO DMM.com

<https://www.teamlab.art/jp/e/planets/>

#チームラボプラネッツ #teamLabPlanets

東京, 豊洲 ([東京都江東区豊洲6-1-16 teamLab Planets TOKYO](#))

開館時間 : 9:00 - 22:00

\* 最終入館は閉館の1時間前

\* 入場時に30分~90分ほどお待ちいただく場合がございます。

ハイライト動画

<https://youtu.be/33yagxN6zi8?feature=shared>

プレスキット

<https://www.dropbox.com/sh/ir7d2au1794eo6z/AChbzX5wPsQm8cgkQ2ViFD4a?dl=0>

【プレスリリースと取材に関する問合せ先】

<https://forms.gle/fAtnDKLpQKFME6XR9>